

(様式2)

高圧ガス製造施設等 変更許可申請書	冷 凍	×整理番号	
		×審査結果	
		×受理年月日	年 月 日
		×許可番号	
名称(事業所の名称を含む。)			
事務所(本社)所在地			
事業所所在地			
変更の種類			

年 月 日

代表者 氏名

千葉県知事

様

×事業所コード	連絡担当者	所属名	電話番号

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
2 ×の項は記載しないこと。  
3 二以上の変更の許可申請を同時に行う場合には、「変更の種類」の欄に一括申請である旨を記載すること。

## 製造施設等の変更明細書

### 1. 製造の目的

--

### 2. 冷媒名

--

### 3. 1日の冷凍能力

従来	台	冷凍トン
増加	台	冷凍トン
廃止	台	冷凍トン
計		冷凍トン

### 4. 変更の目的及び内容

--

### 5. 変更する設備の明細

#### (1) 要目

番	号		
型	式		
冷媒ガスの種類			
基準凝縮温度 (°C)			
許容圧力 (MPa)	高圧部		
	低圧部		
備	考		

#### (2) 圧縮機

番	号				
型	式	名			
圧縮機の種類					
気筒内径 (mm)	※1				
	※2				

行程 (mm) ※1 ※2						
気筒数 ※1						
回転数 (rpm) ※1						
ピストン押しのけ量(m <sup>3</sup> /h) ※1						
原動機定格出力 (kW)						
製造所名						
安全装置 備	弁	口径 (mm)	計算書は別紙に示す。	"	"	"
		吹始め圧力 (MPa)				
		吹出し圧力 (MPa)				
		材料				
	高圧遮断装置	作動圧力 (MPa)				
備考						

(3) 高圧部容器

凝縮器	番号			
	型式名			
	設計圧力 (MPa)			
	設計温度 (°C)			
	シェル型	外径×長さ×胴板厚×鏡板厚又は管板厚 (mm)		
		内容積 (ℓ)		
	コイル型	鏡板、管板の形状		
		材料 (胴板・鏡板・管板)		
	コイル型	管の外径×列数×段数×管の長さ (mm)		
		管の材料		
製造所名				
安全装置 備	種類			
	口径 (mm)	計算書は別紙に示す。	計算書は別紙に示す。	
	吹始め圧力及び吹出し圧力 (MPa) 又は溶融温度 (°C)			
	材料			
備考				

受 液 器	番 号		
	型 式 名		
	設 計 圧 力 ( M P a )		
	設 計 温 度 ( ° C )		
	外 径 × 長 さ × 胴 板 厚 × 鏡 板 厚 (mm)		
	内 容 積 ( ℓ )		
	鏡 板 の 形 状		
	材 料 ( 胴 板 ・ 鏡 板 )		
	製 造 所 名		
	安 全 装 置	種 類	
	口 径 ( m m )	計算書は別紙 に示す。	計算書は別紙 に示す。
	吹始め圧力及び吹出し 圧力(MPa)又は溶融温度 (°C)		
	材 料		
	備 考		
油 分 離 器	番 号		
	型 式 名		
	設 計 圧 力 ( M P a )		
	設 計 温 度 ( ° C )		
	外 径 × 長 さ × 胴 板 厚 × 鏡 板 厚 (mm)		
	鏡 板 の 形 状		
	材 料 ( 胴 板 ・ 鏡 板 )		
	製 造 所 名		
	備 考		
( )	番 号		
	型 式 名		
	設 計 圧 力 ( M P a )		
	設 計 温 度 ( ° C )		
	外 径 × 長 さ × 胴 板 厚 × 鏡 板 厚 又は管板厚(mm)		
	内 容 積 ( ℓ )		
	鏡 板 、 管 板 の 形 状		

	材料 (胴板・鏡板)		
	製造所名		
全 装 置 備	種類		
	口径 (mm)	計算書は別紙に示す。	計算書は別紙に示す。
	吹始め圧力及び吹出し圧力 (MPa)、破裂圧力 (MPa)、溶融温度 (°C)		
	材料		
	備考		

(4)-1 低圧部容器

～          ～	番号			
	型式名			
	設計圧力 (MPa)			
	設計温度 (°C)			
	外径×長さ×胴板厚×鏡板厚又は管板厚(mm)			
	鏡板、管板の形状			
	材料 (胴板・鏡板)			
	製造所名			
	全 装 置 備	種類		
		口径 (mm)		
		吹始め圧力及び吹出し圧力 (MPa)、破裂圧力又は作動圧力 (MPa)		
		材料		
		備考		

## (4)-2 その他の容器

（	番	号		
	型	式	名	
	設	計	圧	力 ( M P a )
	設	計	温	度 ( ° C )
	外	径	×	長
	さ	×	胴	板
	厚	×	鏡	板
	厚	(mm)		
	鏡	板	、	管
	板	の	形	状
材	料	( 胴	板	
・	鏡	板 )		
・	管	板 )		
製	造	所	名	
全	安	種	類	
		口	径 ( m m )	
	装	吹		始
		め		圧
	置	力		及
置	び		吹	
置	出		し	
置	圧		力	
置	又		は	
置	作		動	
置	圧		力	
置	(MPa)			
備	考			
（	番	号		
	型	式	名	
	設	計	圧	力 ( M P a )
	設	計	温	度 ( ° C )
	外	径	×	長
	さ	×	胴	板
	厚	×	鏡	板
	厚	(mm)		
	鏡	板	、	管
	板	の	形	状
材	料	( 胴	板	
・	鏡	板 )		
・	管	板 )		
製	造	所	名	
全	安	種	類	
		口	径 ( m m )	
	装	吹		始
		め		圧
	置	力		及
び		吹		
置	出		し	
	圧		力	
置	又		は	
	作		動	
置	圧		力	
	(MPa)			
備	考			

## (5) 配管

区 分	設 計 圧 力 ( M P a )	設 計 温 度 ( ° C )	材 料
高 圧 部			
低 圧 部			

## (6) 止め弁及び自動制御弁

区 分	止め弁、自動 制御弁の区分	型 式	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	口径 (mm)	材 料	個 数
高圧部							
低圧部							

## (7) 自動制御装置

種 類	有 無	作 動 圧 力 ( M P a )
高 圧 遮 断 装 置		
低 圧 遮 断 装 置		
油 圧 遮 断 装 置		差圧
過 負 荷 保 護 装 置		
凍 結 防 止 装 置		
断 水 保 護 装 置		
送 風 機 連 動 機 構		
過 熱 防 止 装 置		
ガス漏えい連動緊急停止装置		
冷媒ガス高温遮断装置		
溶液高温遮断装置		
受液器出口等緊急遮断装置		
ガス漏えい連動除外設備等		
感震器連動緊急停止装置		
停電補償ガス漏えい検知設備 及びインターロック		

## 6. 耐圧、気密等の性能

(1) 材料試験等、耐圧試験及び気密試験成績書

別添

(2) 冷凍用圧縮機等耐圧試験気密試験証明書

別添

(3) 機器試験合格証明書

別添

7. 製造施設の位置及び付近の状況

別図  に示す。

8. 製造施設の構造及び製造設備の配置

別図  に示す。

特に図中に明示する事項	図中の番号等	特に図中に明示する事項	図中の番号等
引火性、発火性の物をたい積した場所		機械室の開口部	
火 気		機械通風装置	
警 戒 標		消 火 設 備	
圧 力 計		ガス漏えい検知警報器	
安 全 装 置		除 害 設 備	
受 液 器 の 液 面 計		保 護 具 の 保 管 場 所	
保安上重大な影響を与えるバルブ等			

9. 製造施設の状況

(1) 火気等の状況

引火性、発火性の物をたい積した場所	無			
	有	種 類 ・ 量		
火 気	有	冷媒設備からの距離(m)		
		種 類	※ボイラの場合は伝熱面積 ( m <sup>2</sup> )	
	無	冷媒設備からの距離(m)		
		防火壁又は温度上昇防止措置の有無及び種類	無	
有		種 類		

(2) 警戒標

表 示 事 項	

(3) 滞留しないような構造

開 口 部	面積	m <sup>2</sup>
機 械 通 風 装 置	換気能力	m <sup>3</sup> /min



(4) 振動、衝撃、腐しよくにより冷媒ガスが漏えいしない構造

防 振 措 置	振れ止め 可とう管 防振装置 ( ) その他 ( )
突 出 部 等 の 防 護 措 置	
防 し よ く 措 置	塗装 その他 ( )

(5) 耐震設計

凝 縮 器 (たて置円筒形で胴部長さ5m以上)	無
	有 計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。
受 液 器 (内容積5000ℓ以上)	無
	有 計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。

(6) 圧力計

区 分	取 付 位 置	最 高 目 盛 ( M P a )	個 数
高 圧 部			
低 圧 部			
圧 縮 機 潤 滑 油			

(7) 受液器の液面計

液 面 計 の 種 類	
ガラス管液面計の破損防止措置	

(8) 除害措置

除 害 設 備 の 種 類		
除 害 剤 の 保 有 量		
保 護 具	空気呼吸器、送気式マスク、酸素呼吸器 (全面形)	個
	隔離式防毒マスク (全面高濃度形)	個
	保護手袋及び保護長靴 (ゴム製又はビニル製)	組
	保護衣 (ゴム製又はビニル製)	着

(9) バルブ等の基準

- ① バルブ等には開閉方向を明示し、配管には流体の種類及び流れの方向を明示する。
- ② 保安上重大な影響を与えるバルブの措置

バルブの種類	個数	開閉状態の表示	流体の種類及び方向の表示	封印等の措置
安全弁				封印
安全弁の元弁				禁札
緊急放出弁				
自動弁				
圧縮機吐出弁				
冷却水止め弁				
ライン止め弁				
高低圧を区分する弁				

注) 自動弁とは電磁弁、逆止弁等をいう。

10. 工事完成予定日

年 月 日
-------

11. 工事施工業者

名称	
所在地	
電話番号	
担当者所属氏名	